

## 可児市自主運行バス 再編について

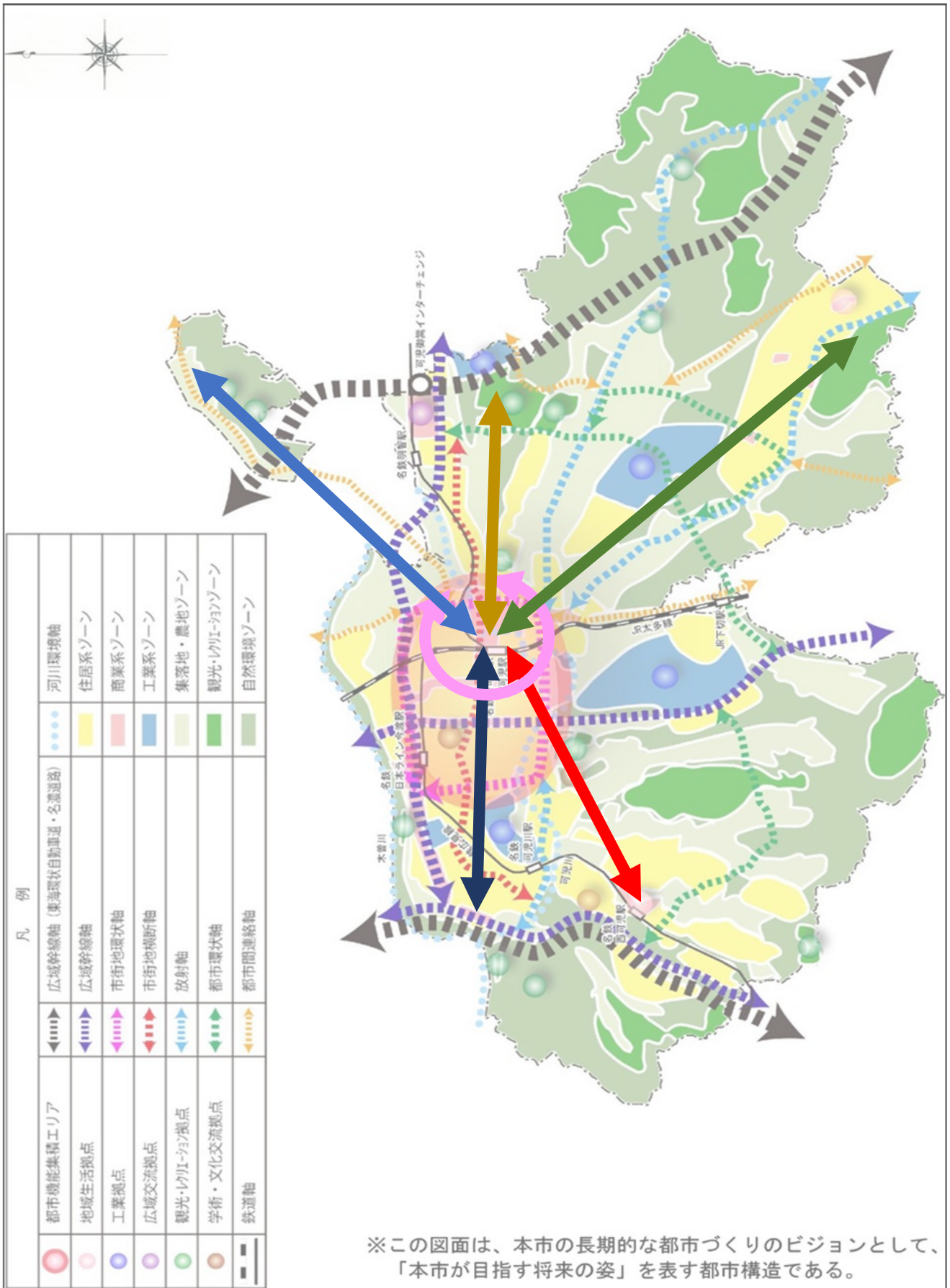
### 可児市 さつきバス再編の基本方針(案)

- 都市構造特性からみた再編条件の整理
  - ・都市内の各拠点や居住地ゾーンを運行ルートとするバス路線を確保する必要がある
  - ・市内の主要集客施設を結ぶバス路線を確保する必要がある
  - ・都市計画マスタープランには、「多様な都市機能を結ぶネットワークを強化する」ことが目標として記載されている（「都市機能集積エリア」→中心循環線）
  - ・地域公共交通網形成計画の基本方針では、まちづくりとの連携がうたわれている
  - ・最も人口の集積するエリアでは、バスが運行されていない状態にある
- 利用実態・特性からみた再編条件の整理
  - ・直近 5 年間の利用者数は概ね横ばい状態にある
  - ・利用頻度は西部線を除いて、週に複数回利用する方が多く、ほぼ毎日利用する方もみられる
  - ・バスの利用目的は各路線とも通院や買物が多いが、通勤も 15%以上ある
  - ・乗り継ぎをしない利用者とさつきバス同士で乗り継ぎをする利用者が同程度存在する
  - ・各路線とも、中心循環線と重複している区間での OD が少ない
  - ・兼山線を除いて、1 日を通してバス車内の乗車人員が 4 名を下回る路線はない
- その他の再編条件の整理
  - ・中心循環線と重複して運行している区間をもつ路線があり、複雑な路線網となっている
  - ・乗り継ぎが分かりにくいなどの意見が寄せられている

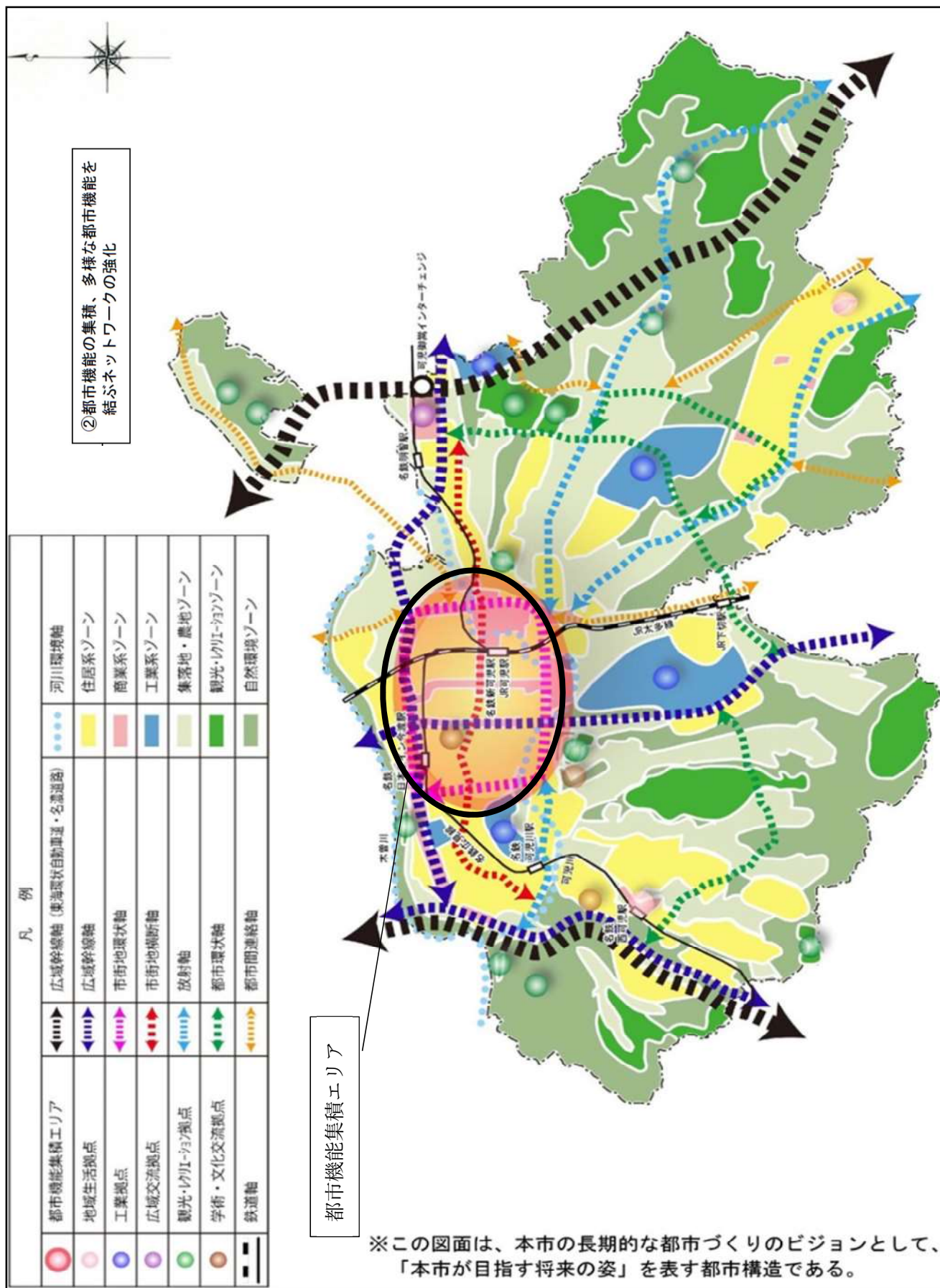
#### さつきバス再編方針(案)

- まちづくりと連携するため、都市機能集積エリア路線の強化を図る
- 現状の利用者を考慮した再編ルート設定とする
- 人口集積の高い地域を経由する路線を新設する
- 安心して利用できるよう、遅延が少なくなるダイヤ設定とする
- 重複する経路を解消することで、効率的な運行とし、生産性の向上を図る

● さつきバス再編イメージ図



● 第2次可児市都市計画マスタープラン 将来都市構造図



- 可児市地域公共交通網形成計画 基本方針

## 「また来たい ずっと住みたい まちの魅力を支える公共交通」

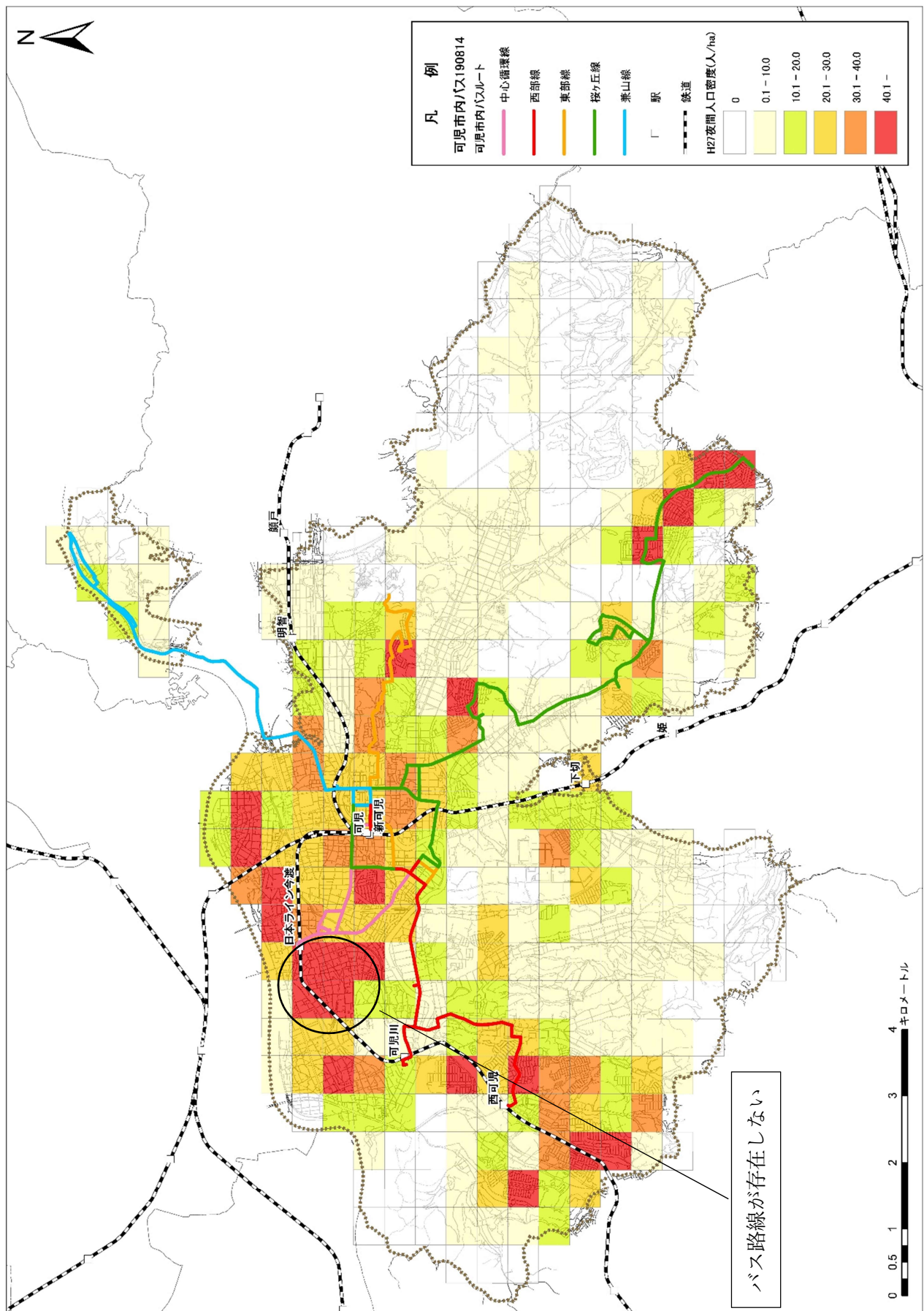
の実現に向けて

**基本方針□** 可児駅・新可児駅、西可児駅を中心とした公共交通ネットワークの維持を基本としつつ、高齢者の日常生活や若者の通学を支える、まちづくりや観光振興と連携した公共交通サービスの提供（課題①・②に対応）

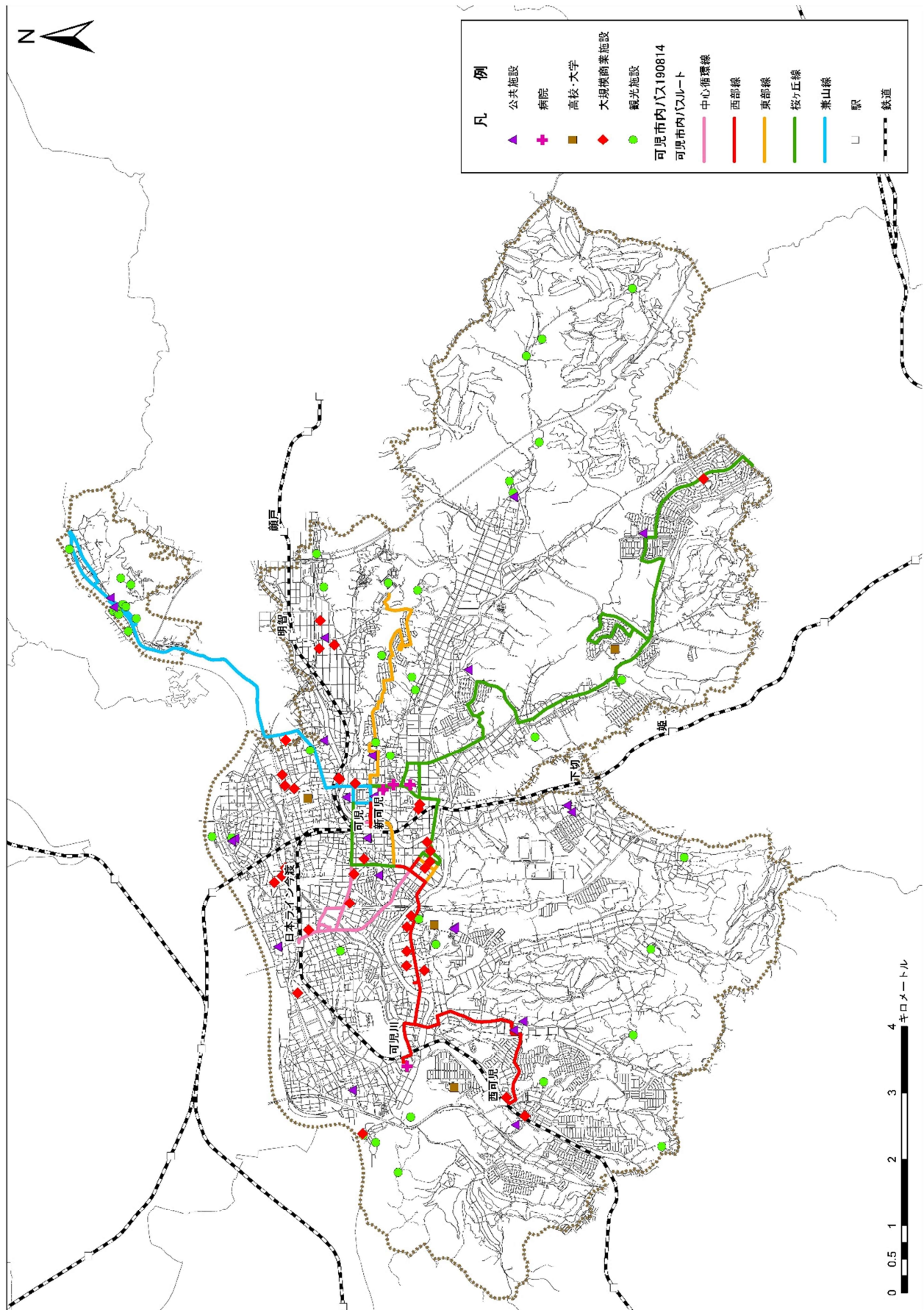
**基本方針□** 地区住民が日常生活の中で安心して利用でき、来訪者にもわかりやすい公共交通利用環境の充実（課題①・③に対応）

**基本方針□** 可児市の公共交通に関わる全ての関係者が連携・協働し、公共交通を支え育む取り組みの推進（課題①・②・③に対応）

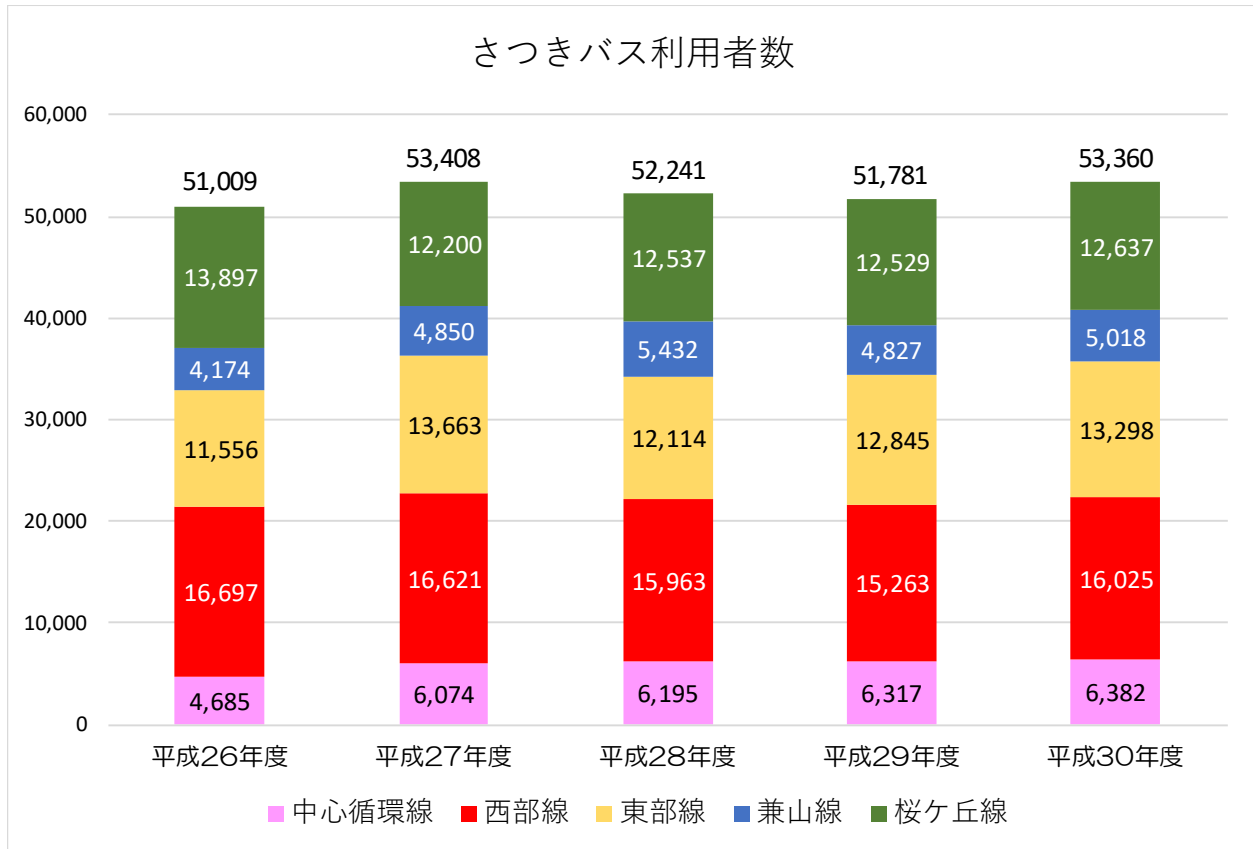
● さつきバス路線図 (H27 夜間人口メッシュ)



● さつきバス路線図（主要集客施設）



● さつきバス利用者数



## 可児市 電話で予約バス 再編の基本方針（案）

公共交通担当者が、普段の窓口業務において聞き取りをした、電話で予約バスを利用したことがある市民が利用をやめた理由・改善してほしい点として、

- ・乗車時間が長すぎて車に酔ってしまった経験がある。
- ・乗車時間が長い時があるため、お手洗いの心配があり利用をためらう。
- ・自分の前に乗る人が多いと時間通りにバスが来ず、停留所での待ち時間が長くてしんどい。

が多く挙げられています。

運転免許証自主返納者支援事業で回数券をお渡しした方への事後アンケートでの記述欄からも、このような意見は寄せられています。（資料3－資料 p6・7）

令和元年度 7 月 地区別運行便数と運行時間 30 分以上の便の割合

	今渡・川合・ 土田	春里・姫治	羽崎・二野・ 久々利	大森	広見東 ・中恵土	下恵土 ・広見	帷子
運行台数	293	354	184	209	136	222	50
30 分以上 の台数	29	73	2	21	1	0	2
割合	10%	20%	1%	10%	1%	0%	4%

平成 30 年度 地区別運行便数と平均運行時間

路線	今渡・川合・ 土田	春里・姫治	羽崎・二野・ 久々利	大森	下恵土・広 見	広見東・中 恵土	帷子
利用者数 (人)	6,353	7,673	3,853	4,227	3,023	2,600	770
運行台数 (台)	3,341	3,940	2,205	2,285	2,022	1,871	563
走行距離 (km)	18,351.6	28,472.3	13,030.6	14,229.2	5,174.4	6,759.6	1,359.9
運行時間 (分)	55,430.4	77,772.0	30,460.0	34,862.0	17,823.0	19,541.0	7,767.0
利用者数 /台	1.9	1.9	1.7	1.8	1.5	1.4	1.4
運行時間 /台	16.6	19.7	13.8	15.3	8.8	10.4	13.8
走行距離 /台	5.5	7.2	5.9	6.2	2.6	3.6	2.4



「今渡・土田・川合地区」、「春里・姫治地区」、「大森地区」において、運行時間が長い便が、他の地区に比べて多数存在しています。

1台当たりの利用者数は「今渡・土田・川合地区」、「春里・姫治地区」、「羽崎・二野・久々利地区」、「大森地区」が多くなっていますが、「羽崎・二野・久々利地区」については平均の運行時間は他に比べて短く、30分以上かかる便も非常に少なくなっています。

これらから、「今渡・土田・川合地区」、「春里・姫治地区」、「大森地区」について、運行時間の短縮を図る必要があると考えられます。

#### 電話で予約バス再編の方針（案）

- 区域の見直しにより、各区域の運行時間の均衡化を図る
- さつきバスへの移行